

平成 24 年度 相模原商工会議所 環境活動報告

1. 中小企業に対する環境対策の普及・啓発事業

(1) 節電・省エネルギー対策に関する情報の提供

事業者に向けて、節電・省エネルギーパンフレット作成(2万部)を作成し、広報さがみはらや、当所会報掲載する等して周知した。

(2) 相模原市蓄電器等購入助成金事業

蓄電器、発電機、電力計測監視装置、空調機器および照明機器を設置し、節電対策を講じる事業者に対し、助成金を交付した。

助成件数 23 件

助成金額合計 1,775,000 円

(3) 節電専門家の派遣

コスト削減やCO₂削減効果に繋がる省エネ活動を支援することにより、継続的な節電対策および企業競争力の向上に貢献することを目的として実施した。

派遣企業数 45 社

(4) 環境対策優良事業所表彰

環境対策への取り組みが顕著な市内事業所を表彰・認定した。

被表彰事業所 10 件

※表彰基準：認定事業所の内、特に環境対策への取り組みが顕著な事業所を表彰。

認定事業所 77 件

※認定基準：環境対策行動宣言項目について達成率 90%以上、又は点数 70 点以上の事業所を認定。

(5) エコショップ認定申請受付 1 件

(6) 地球温暖化対策・省エネルギーに関するアンケート調査

市内 1,000 事業所にアンケートを送付し、環境に配慮した取り組みに関するアンケート調査を行い、報告書を作成した。

調査期間：平成 24 年 4 月 13 日～4 月 27 日

回収率 : 30.5%

(7) ライトダウンキャンペーンの啓発

町田市・相模原市ライトダウンキャンペーン「まちだ・さがみはら 絆・創・光」(実施日：平成25年3月11日 18:00～20:00)の周知を行った。

FAX 同報送信数 2,844 事業所

2. 部会・団体事業

○ 工業部会事業

(1) 新成長ビジネス GET プロジェクト事業

実施年月日	実施内容	参加者 (人)
平成24年 5月29日	次世代自動車セミナー 講師：トヨタ自動車(株) 第1技術開発本部 FC開発 部主査 担当部長 大仲 英巳 氏 内容：燃料電池自動車に関するセミナー 会場：市立産業会館 1階 多目的ホール	61
平成25年 2月13日	水素社会連続講座① 講師：横浜国立大学 共同研究センター産学官連携 コーディネーター 西川 矜二 氏 横浜国立大学 産学連携推進本部 共同研究 センター 村富 洋一 氏 内容：水素の基礎と産業利用の動向 会場：市立産業会館 4階 国際商談室	39
平成25年 2月20日	水素社会連続講座② 講師：横浜国立大学 大学院工学研究院講師 相原 雅彦 氏 横浜国立大学 共同研究センター産学官連携 コーディネーター 西川 矜二 氏 内容：水素製造技術の現状と課題 会場：市立産業会館 4階 国際商談室	27
平成25年 3月11日	水素社会連続講座③ 講師：横浜国立大学大学院工学研究院グリーン水素 研究センター特任教授 太田 健一郎 氏 内容：グリーン水素社会への展望 会場：相模原市立産業会館 3階 大研修室 ※公開講演会とし、当所内部団体の近未来技術研究 会と共催	72

平成 25 年 3 月 21 日	水素社会連続講座④ 講師：横浜国立大学 大学院工学研究院教授 光島 重徳 氏 横浜国立大学 産学連携推進本部 共同研究 センター 村富 洋一 氏 内容：燃料電池技術の現状と課題 会場：市立産業会館 4 階 国際商談室	27
平成 25 年 3 月 29 日	水素社会連続講座⑤ 講師：千代田化工建設(株) 技術開発ユニット 技師長 岡田 佳巳 氏 横浜国立大学 産学連携推進本部 共同研究 センター 村富 洋一 氏 会場：市立産業会館 4 階 国際商談室	29

(2) 首都圏南西地域産業活性化フォーラム

実施年月日	実施内容
平成 25 年 2 月 8 日	第 25 回フォーラム 次世代自動車と中小企業の参入機会を考える 会場：相模原市立産業会館 1 階 多目的ホール

○工業部会・建設業部会合同事業

(3) 合同視察研修

東京ガスエネルギーソリューション展および産業交流展視察

実施年月日	場 所	参加者 (人)
平成 24 年 11 月 22 日	東京ビッグサイト	24

○商業部会事業

(4) 商店街地域貢献事業

地域と連携した美化運動を商店街が実施できるよう支援するため「さがみはらクリーン大作戦」(市内一斉清掃)を実施。

実施年月日	場 所	参加商店街	参加者 (人)
平成 24 年 9 月 25 日	市内各商店街 エリア	36	659 名 (商店街 424 人、 協力団体等 235 人)
平成 25 年 3 月 19 日	市内各商店街 エリア	33	737 名 (商店街 436 人、 協力団体等 301 人)

○内部団体事業

(5) 女性会事業

実施期間	実施内容
平成24年12月25日 ～平成25年1月15日	企業等の未使用のカレンダーを再利用、会員店舗等で販売し、 売上げの一部を、子どもの教育支援機関等に寄付。 参加店舗：猪熊寝具店、大貫洋品店、志美津屋製菓、誠心堂、 ブティック絵美衣留、ユニディ相模大野店、ライフベース

(6) 近未来技術研究会事業

開催日	実施内容	参加者数
平成24年 11月9日	第3回例会 近未来エネルギー展望 ～ハイドロカーボンから水素の時代へ～ 講師：大森 元裕 氏 (元 千代田化工建設(株)) 盛 俊夫 氏 (元 千代田化工建設(株)) 会場：市立産業会館 4階 国際商談室	23
平成25年 3月11日	第4回例会 グリーン水素社会への展望 ～近未来におけるエネルギー革命～ 講師：横浜国立大学 特任教授 太田 健一郎 氏 会場：市立産業会館 3階 大研修室 ※公開講演会とし、当所工業部会の新成長 ビジネス GET プロジェクト事業と共催	72

3. 検定・研修等

○ 平成24年度 東商環境社会検定試験 (eco 検定) の実施状況

回数	実施年月日	種類	人数
第12回	平成24年7月22日	受験者数	95
		合格者数	46
第13回	平成24年12月16日	受験者数	120
		合格者数	65
合計		受験者数	215
		合格者数	111

○ 平成 24 年度 環境規格に関する研修の実施状況

項 目	実施年月日	場 所	出席(人)	
ISO14001	入門セミナー	平成 24 年 5 月 18 日	市立産業会館	6
	内部監査員 養成セミナー	平成 24 年 6 月 21 日・22 日	市立産業会館	17
		平成 24 年 10 月 18 日・19 日	市立産業会館	27
	内部監査員 ブラッシュアップ セミナー	平成 25 年 3 月 6 日	市立産業会館	6
エコアクション 21 相模原セミナー	平成 24 年 8 月 6 日 (説明会)	環境情報セン ター	9	
	9 月 12 日・10 月 10 日・11 月 14 日・2 月 13 日・3 月 13 日 (全 5 回)		5	

○ (仮称) 相模原市地球温暖化対策推進条例に係る説明会の実施

実施年月日	実施内容	参加者 (人)
平成 24 年 8 月 22 日	表記条例 (案) に係る説明会 講師：相模原市 環境政策課 内容：相模原市が制定を検討している表記条例に ついて、取り組むべき対策や責務について 説明 会場：相模原市産業会館 4 階 国際商談室	24

○ 小学生を対象とした環境科学セミナーの実施

実施年月日	実施内容	参加者 (人)
平成 24 年 9 月 22 日	わくわくキッズ環境科学セミナー ～未来につなぐ きれいな地球～ ① 宇宙の中の地球環境 ～わたしたちはどこにいるのか～ 講師：JAXA (宇宙航空研究開発機構) 今村 剛 准教授 ② マイナス 162 度の不思議な体験学習 講師：東京ガス(株)神奈川西支店 ③ らんま先生の eco 実験パフォーマンス 講師：環境省認定環境カウンセラー らんま先生 (石渡 学 氏) 会場：相模原市産業会館 1 階 多目的ホール	119

○ 広域技術・ビジネス交流会

ものづくり支援プロジェクト

町田、八王子、相模原の3商工会議所工業部会の広域連携事業としてビジネス交流会を開催した。(なお、本事業は平成23年度から3年間実施するもので、回数は通算となっている。)

実施年月日	実施内容
平成24年 9月29日	第3回講演会 大手企業と実現する環境エネルギービジネス 講師：玉川大学工学部教授 大久保 英敬 氏 会場：玉川大学研修室棟
平成24年 10月27日	第4回講演会 ヒートポンプ等各種の省エネ技術について 講師：玉川大学工学部教授 大久保 英敬 氏 持続可能な社会に向けての食料残渣の利活用 講師：玉川大学農学部教授 吉村 義隆 氏 会場：玉川大学研修室棟
平成25年 1月26日	第5回講演会 青山学院における環境・エネルギー研究の取り組みについて 講師：青山学院大学理工学部准教授 熊野 寛之 氏 施設見学：玉川大学内植物工場の見学 情報交換コーディネーター：玉川大学工学部教授 大久保 英敬氏 内容：上記のとおり講演、施設見学、情報交換を実施 会場：玉川大学研修室棟他
平成25年 2月16日	第6回講演会 熱エネルギー有効利用技術(ヒートポンプ技術を中心に) 講師：産業技術研究所 宗像 鉄雄 氏 エネルギー研究の取り組みについて 講師：横浜国立大学教授 宇高 義郎 氏 内容：上記のとおり講演会(2題)を実施 会場：玉川大学研修室棟
平成25年 3月18日	第7回講演会 IHIグループの再生可能エネルギーへの取り組み 講師：IHIプラント建設(株)プラント設計部 尾崎 誠 氏 ヒートポンプの歴史と熱利用 講師：(株)NATOMICS 関 光雄 氏 内容：上記のとおり講演会(2題)を実施 会場：ホテル ザ・エルシィ町田

4. 容器リサイクル・産業廃棄物

- 再商品化義務のある事業者（特定事業者）からの再商品化委託申込書の受付を財団法人容器包装リサイクル協会より委託を受け実施。

【平成 24 年度受付件数 5 件】

5. 天然水「さがみの潤水」の売上金の一部を環境保全等に活用

平成 23 年度相模原市の委託事業で天然水「さがみの潤水」を開発。平成 24 年 4 月 7 日から販売を開始。平成 24 年度販売本数は、105,471 本。本製品販売 1 本につき 5 円を水源環境の保全などに活用させて頂く予定。

6. 相模原商工会議所としての取り組みの推進

(1) 環境へ及ぼす影響を減らす取り組み

ア. エネルギー使用関係

a. エネルギー効率の向上

① 電気使用量の削減

- ・ デマンド監視システム導入により、電力使用ピーク時を監視し、電気使用料の抑制を実施。
- ・ 事務所に LED 照明機器を導入。
- ・ クールビズ（気温 28℃、湿度 70%）、ウォームビズ（20℃）の徹底実施。
- ・ 休憩時間や使用していない部屋、廊下等の消灯、また、5 時以降事務所内の一部消灯を実施。
- ・ パソコン、モニターの省電力設定を実施。
- ・ 長時間席を離れるとき、パソコンを使用しないときのパソコン、モニターの電源オフを実施。
- ・ 共有プリンター、コピー機、複合機など OA 機器の帰宅時の電源オフを実施。
- ・ シュレッダー機器などの未使用時の電源オフを実施。
- ・ 窓の開閉可能な部屋では窓の開閉により室温の調整を実施。
- ・ ブラインドやカーテンで冷暖房の効果的運転を実施。
- ・ 給茶機の使用時間制限を実施。

② ガスの使用量の削減

- ・ ガス湯沸かし器の口火をこまめに消すことを実施。

③ エネルギー使用量の把握

- ・ デマンド監視システム導入により、年間を通じ把握。

イ. グリーン購入の積極的実践

名刺、封筒等エコマーク商品や再生材料から作られた製品を優先的に購入し、使用することを実施。

ウ. 節水、水の効率的利用

手洗いやコップ・湯のみ茶碗などの洗い物時の節水を実施。

エ. 排出物

a. 廃棄物の発生抑制

- ・ パソコンプリントアウト、コピー、印刷するときは再確認を行いミスの抑制を図る。
- ・ 両面によるパソコンプリントアウト、コピー、印刷を実施。
- ・ 使用済みコピー用紙の裏面使用やメモ用紙として活用することを実施。
- ・ 所内電子化などにより紙使用の削減に努める。
- ・ ガラス容器などで詰め替え可能なものに関する消耗品等購入時には詰め替え可能な商品購入を実施。
- ・ 老朽化等により設備、備品等の購入を検討する際には、原則、修理、部品交換等により長期使用することを実施。

b. 廃棄物の適正処理

- ・ 一般廃棄物の処分は委託業者に依頼し、廃棄物マニフェストにより週3回、分別（紙類、プラスチック、びん、缶、蛍光灯等）回収を実施。
- ・ ペットボトルは各種飲料自動販売機設置業者が月単位交代で定期的に回収を実施。
- ・ 再生トイレットペーパー購入時に新聞、段ボールの回収を実施。

c. リユース

- ・ 封筒、クリップ、画鋏などの再利用を実施。

オ. 流通(包装を含む)

a. 自動車の燃費効率向上等

- ・ エコドライブの実践（アイドリングストップ、急発進・急加速・空ぶかしの禁止、不要積載物の排除、適正スピードの励行など）。
- ・ 法定定期的点検の実施。
- ・ タイヤ空気圧の定期点検を実施。
- ・ 車両更新時には環境負荷の低い車両（低燃費ガソリン車、ハイブリッド車、電気自動車など）への転換を検討。
- ・ 近隣への巡回等は、自転車や徒歩で訪問。

(2) 環境に配慮した経営

ア. 環境経営システム

- エコアクション21取得（取得：平成23年11月10日）
- 相模原市エコオフィス認定取得 本所・南支所（認定：平成21年5月1日）

イ. ステークホルダーへのアカウンタビリティ(利害関係者への説明責任)

- 相模原商工会議所ホームページで環境行動計画及び環境行動計画に基づく事業推進状況について報告。
- 環境対策特別委員会で第2次環境行動計画（平成25年4月～28年3月）について検討し、策定。

ウ. 教育、プロジェクト等

○ 地域社会プロジェクト

- ・ 相模原クリーン大作戦に職員が参加
(平成 24 年 9 月 14 日に 12 名、平成 25 年 3 月 19 日に 10 名)。
- ・ ペットボトルのキャップを集め、世界の子ども達などへのワクチン接種に貢献。

○ 東商環境社会検定試験(e c o 検定)の合格

平成 24 年度採用職員を除き、合格。